



税理士 業界向け RPA導入ガイド

R P A G U I D E B O O K



本資料は、
MAC&BPコンサルティンググループ監修のもと、
RPAテクノロジーズで作成した資料となります。



！ 税理士業界のいま

コロナによる労働環境の変化と、**慢性的な人材不足**が続いています。
電子帳簿保存法やインボイス制度など、
法対応へ向けての体制構築が急務となっており、
税理士業界の全体的な業務負担が増加している傾向にあります。

2021年12月10日に与党の令和4年度税制改正大綱が決定。

その中に税理士制度の見直し、税理士事務所の在り方も示され、

税理士業務のデジタル化および対応が求められており、大きな転換点を迎えている。



業界の課題

1

慢性的な人材不足

税理士試験の受験者数は年々減少。
他業界からの人材流入も少数のため、慢性的な人材不足に陥っている。

2

属人的な業務体制の蔓延

業務の専門性が高く、かつ顧問先ごとに処理方法などが異なるため、
担当者による属人的な対応になりやすい。

3

高齢化によるテクノロジーへの対応力不足

税理士の高齢化が加速しており、
既存の業務処理体制に変更をもたらすような新たなシステムの導入には消極的。



RPAとは

RPA (Robotic Process Automation) とは、

私たちが日々行っているパソコン上での一連の作業を効率化してくれる
“ソフトウェアのロボット”です。



単純作業における
人的ミス



慢性的な人手不足

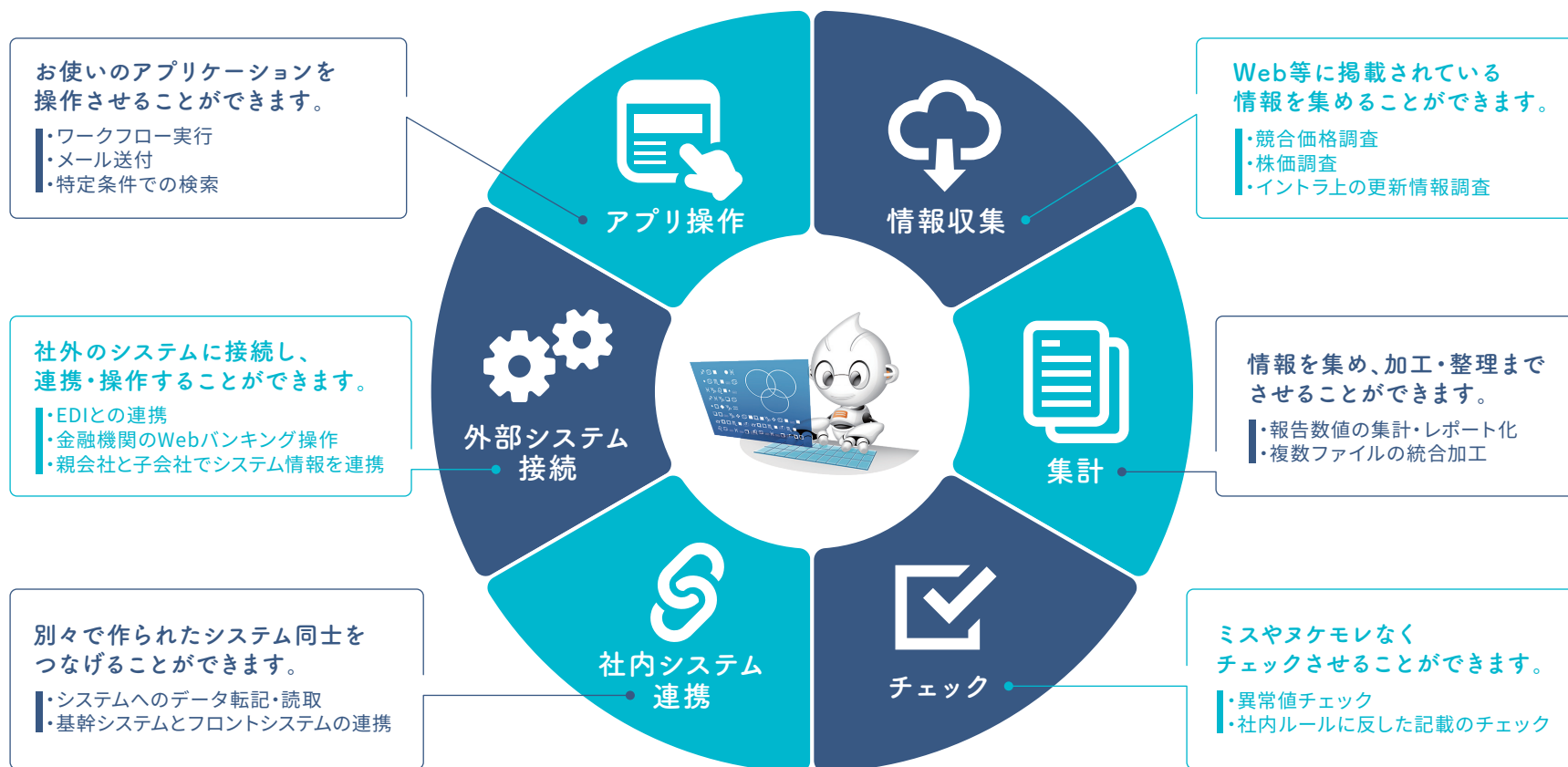


属人的に
なっている業務

RPAによってルーチンワークを自動化することで
多くの課題を解決へと導きます。



RPAができること

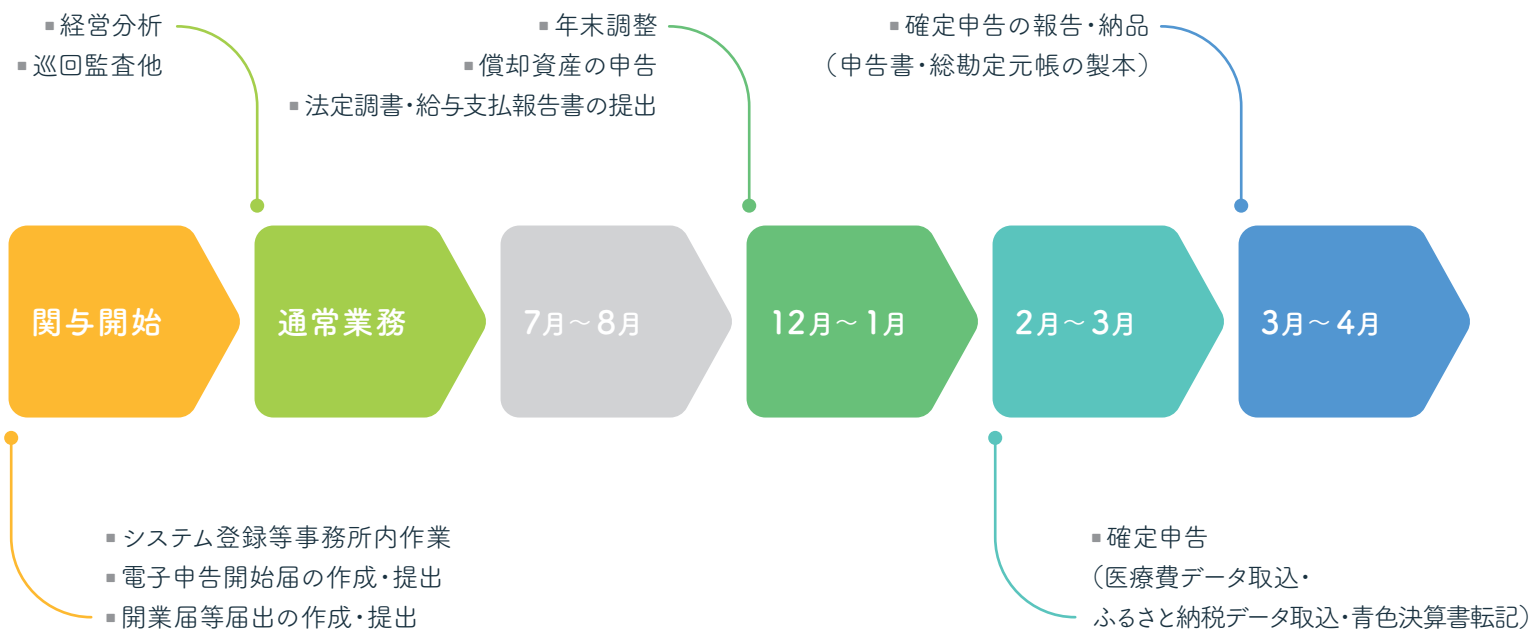


税理士事務所においても、**多くの業務自動化を実現します。**



税理士業界でRPAができること

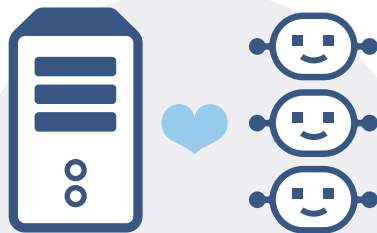
確定申告時期に発生する慢性的な人手不足も RPAで解決していくことができます





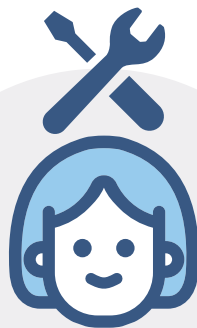
税理士業界でのRPA選定ポイント

RPA選定においての情報が多すぎるため
ポイントを押さえておくことが大事です



既存システムとの相性

自社で導入している会計・税務システム
(弥生会計・ミロク・OMS・達人等)と
相性が良いか。



開発の難易度

専任スタッフやSEがいなかったため、
プログラミング等の知識がなくても
ロボットを作ることができるか。



導入済み事務所の状況

既にRPAを導入している他の事務所では
実際にどのように活用し
成果を上げているのか。



税理士業界でRPAを有効活用していくには

業界で活用するためのコツがあります



スモールスタート

複雑なロボットを作成しようとして膨大な時間をかけてしまい、挫折してしまう事務所が多くあります。
また、1つの開発に時間をかけてしまうことで、「費用対効果が低いもの」としてRPA評価が印象付けられます。

- ・簡単なロボットから取り組む
- ・単純な作業かつ数が多い業務を選ぶ



「RPA」ではなく「人」

実際に運用すると想像できなかったエラーが数多く出ます。
ですが、ロボットの精度があがるにつれ
顕著になるのは「ヒューマンエラー」です。

- ・ルールはシンプルに
- ・ヒューマンエラーは共有してなくす



スタッフの負担を減らす

RPAを導入しようとするときにスタッフから
「業務負担が増える」、「やり方を変えなければならない」などの
ネガティブな印象が所内普及に弊害をきたします。

- ・担当者の作業は最小限に
- ・まずは成果物で作業軽減を実感してもらう

他にも、RPA導入事務所の新たなビジネスチャンスとして
クライアント様へのRPA導入支援が考えることができます。



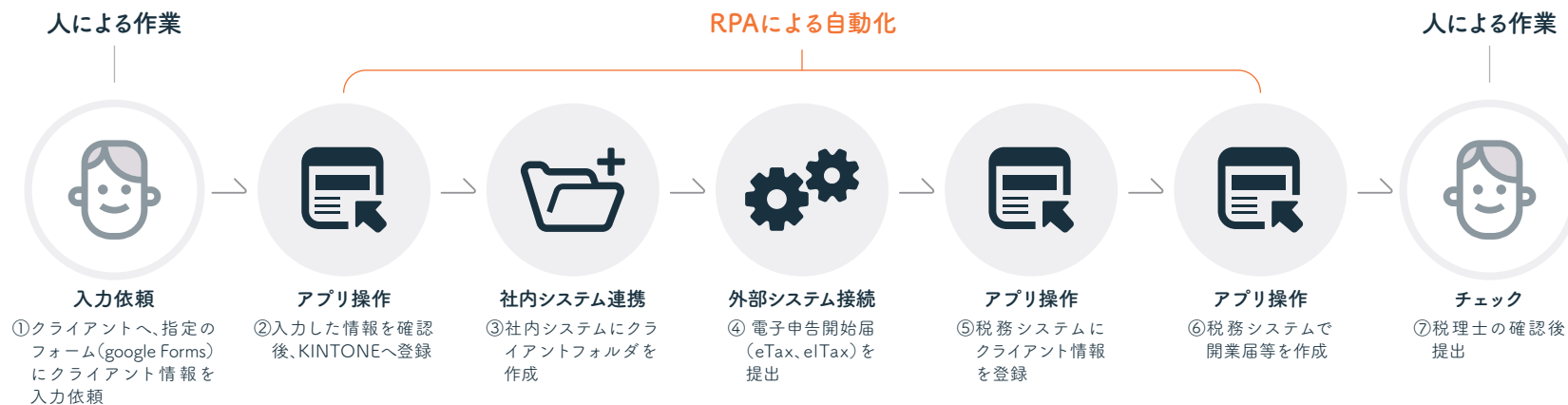
税理士業界での RPA活用事例



税理士業界でのRPA活用事例 ①

クライアント開業手続き

クライアント情報の取得からシステム登録や開業届等の手続きを行う



Before

担当職員がクライアントに聞き取りを行ったり、資料をお預かりすることで情報を収集する。情報を指定のシートやフォルダに保存していた。登録漏れや情報の不足、保存先のばらつきなどの事象が発生することもある。それにより、電子申告開始届や開業届等の作成に時間がかかってしまっていた。

After

クライアントへ直接入力してもらうことにより情報の不足等をなくし、一連がすべてロボット作業に変わったため、スタッフの負担が軽減された。クライアントごとの情報のばらつきなどがなくなり業務が効率化された。



税理士業界でのRPA活用事例 ②

青色決算書情報の転記

会計システム（弥生会計）から税務システム（OMS）へ青色決算書の数値を転記する



Before

会計システムから税務システムへの取込ができないため、PL・BSすべてを手作業で転記していた。手作業になるため、転記ミスが発生し、何重にもチェックをする必要があり、時間がかかっていた。また、年一番の繁忙期であり、膨大な件数があったため、スタッフの負担が大きくなっていた。

After

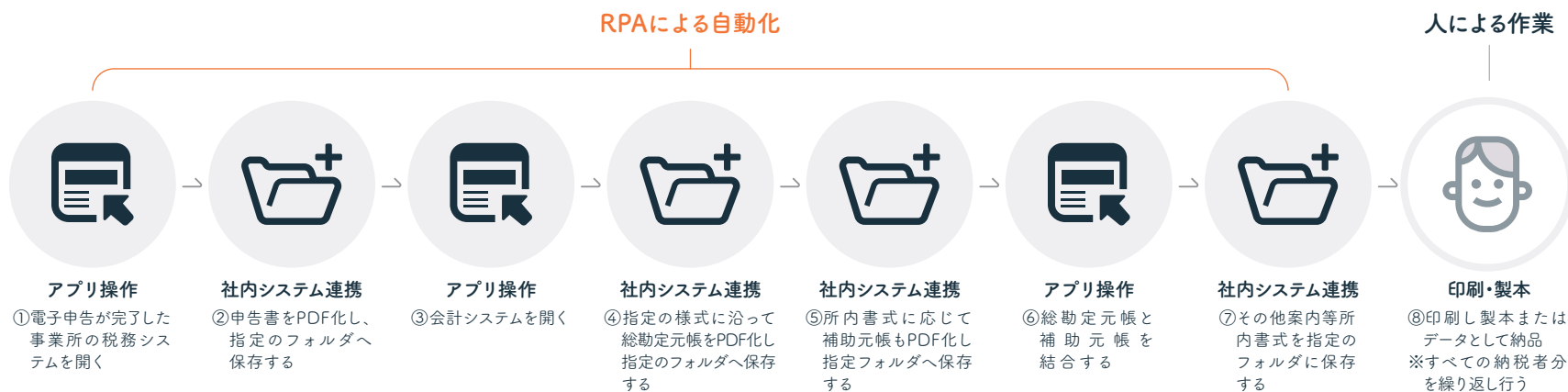
RPAにより、転記ミスがなくなり、チェック方法が変化した。また、転記にかかっていた時間が削減され、繁忙期の残業時間が減少した。スタッフが負担軽減を実感できたロボット。



税理士業界でのRPA活用事例 ③

電子申告済み申告書、総勘定元帳の製本

電子申告の完了後、電子申告済み申告書の製本及び総勘定元帳の製本作業をする（クライアントへの納品）



Before

確定申告後にすべての納税者分をPDF化し製本するため、膨大な時間がかかっていた。順序の並べなおし等、手作業での作業が多く単純作業ながらスタッフが多く時間を割いていた。また、多くのスタッフが同時にアクセスするため、税務システムへの負荷で動作が鈍くなるなどの弊害が出てしまっていた。

After

申告書・総勘定元帳のPDF化作業は夜間や休日に行うことが可能になり、スタッフのPDF化にかかる時間を削減できた。また順序の入れ替え等が不要になり、人の手でやらざるを得ない作業についても削減し、業務効率化に成功した。



RPAユーザーの声 [MAC&BPミッドランド税理士法人]



MAC & BP ミッドランド税理士法人（公式サイト：brain-partner.com）

現場 課題

確定申告期の 膨大な単純作業が負担になっていた

税理士業界では以前から**確定申告期の慢性的な人手不足や残業時間の増大が問題**となっており、同社にとっても課題だった。前年度の確定申告が終わり、今後の効率化に向けた対策を模索していた時に、中部地方の税理士法人が情報交換などを行う中部会計人互助会(CAM)を通じてRPAを知り、導入の検討を開始した。「大きな負担となっていたのはマニュアルがあれば誰でもできる転記作業や、件数の膨大な単純作業。繁忙期が限られていることなどからアルバイトの雇用なども難しく、**RPAの導入で人手不足の解消と残業時間の抑制を図りたい**と考えました」

導入 効果

労働時間の削減に加え、 社員の精神的な負担を軽減

BizRobo!の導入により、まずデータの転記とPDF出力の2つを中心に**計500時間の削減を達成**。「忙しい時期には『今すぐデータの転記をしてほしい』と言われることもあり、**人手では難しかったニーズにも、BizRobo!によって迅速に対応**できるようになりました。

また、PDF出力は繁忙期が終わったあとの最終的な処理業務の一つで、忙しい業務の終了後に膨大な単純作業があるというのが大きな負担になっていました。これをRPA化したことで、**社員の精神的な負担を軽減**できたと感じています。

社内のBizRobo!認知も年度を重ねるごとに広がり、ロボットに代替できる全ての業務でBizRobo!をフル活用している社員も増えている。自身の業務のRPA化を希望する声も多く届いており、費用対効果や部署ごとのバランスなどを考慮しながら順次導入を進めている。現在は確定申告期の業務を中心にRPA化しているが、今後は日常業務でも導入を進めていく予定だ。

MAC&BPミッドランド税理士法人
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

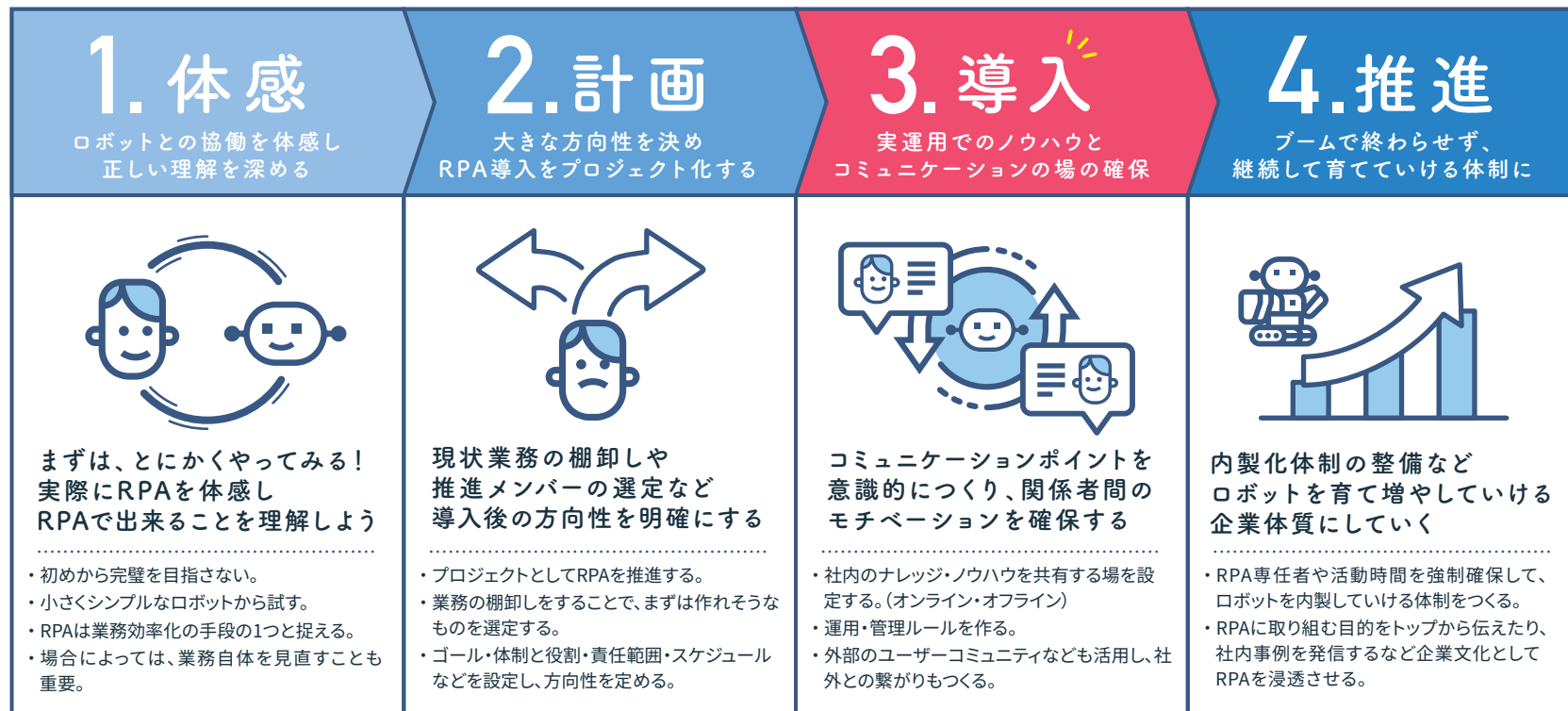
rpa-technologies.com/case/case_059/





RPA導入の進め方

標準的なRPA導入の流れ



RPAは「導入すれば完了」とはなりません。

導入後もトライ&エラーを繰り返して最適化を図ることが重要です。



RPAテクノロジーズ株式会社について

会社名	RPAテクノロジーズ株式会社
持ち株会社	RPAホールディングス株式会社 【東証プライム：6572】
設立	2013年7月
代表者	大角 暢之
所在地	東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー8F
事業内容	RPA、AIを活用した情報処理サービス業、コンサルタント業務 BizRobo!を活用した新規事業開発・推進

BizRobo! についてのお問い合わせ先：rpa-technologies.com/inquiry/contact

トップページ > 最上部メニュー「お問い合わせ」をクリック

お問い合わせ内容 

「お問い合わせ内容」に
ご相談内容をご記入ください。





MAC&BPコンサルティンググループについて

会社名	MAC&BPミッドランド税理士法人 BP医業本部 株式会社bpコンサルティング
Webサイト	http://www.brain-partner.com https://www.bp-consulting-ltd.com
設立	1997年
代表者	代表者 矢野 厚登
従業員数	200名(グループ総勢)
所在地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル4階
事業内容	各種税務業務全般 病医院の開業支援業務 病医院の経営・会計・税務・人事労務管理支援 RPA導入・開発支援

税理士事務所のRPA導入についてのお問い合わせ先：bpc@brain-partner.com

BizRobo!

楽しい時代へ進化する
日本のRPAはBizRobo! から

